

【 もしもの停電に備えた蓄電池運転モード設定変更 】

KPAC-A シリーズ フレキシブル蓄電システム 6.5kWh (KP-BU65-A)、9.8kWh (KP-BU98-B) の場合

蓄電動作モードを [安心] に変更します

※(⇒)は、取扱説明書の対応ページです

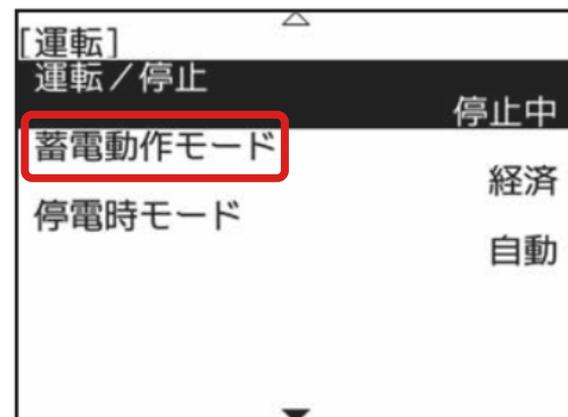
1 メイン画面 (⇒ 23) 表示中に運転ボタンを押す

- 運転画面が表示されます。



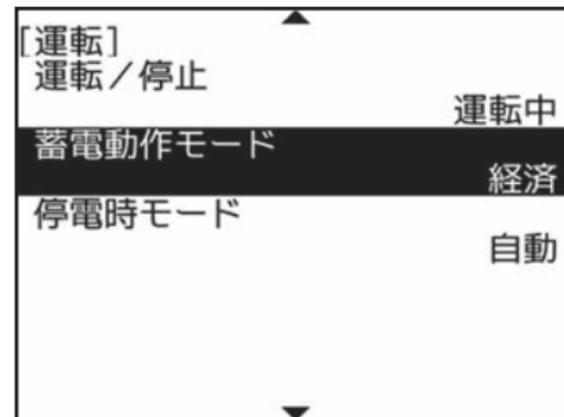
2 現在の状態が表示されるので、確認する

- 続けて、運転モードの変更を行いたい場合は、選択したい項目を選んで決定ボタンを押してください。
 - 運転 / 停止 (⇒ 下記)
 - **蓄電動作モード** (⇒ 33)
 - 停電時モード (⇒ 36)



3 運転画面 (⇒ 32) で「蓄電動作モード」を選び、決定ボタンを押す

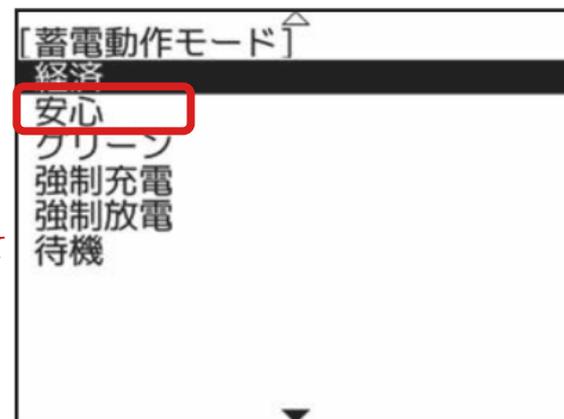
- 蓄電動作モード画面が表示されます。



4 設定したい項目を選び、決定ボタンを押す

経済※ ¹	経済モードで運転します。
安心※ ¹	安心モードで運転します。
グリーン※ ^{1, ※2}	グリーンモードで運転します。
強制充電※ ³	強制充電モードで運転します。
強制放電※ ³	強制放電モードで運転します。
待機※ ³	待機モードで運転します。

停電に備えて残しておく蓄電残量 (=SOC下限) を50~100%で設定できるモードです。
(全て停電に備えて溜めておく場合100%を推奨)



※ 1.設定を変更しても、外部制御中は蓄電動作モードには従いません。

※ 2. **システム単体** では、グリーンモードにしても効果がありません。設定しないでください。

※ 3.設定を変更した場合、外部制御中でも「強制充電」/「強制放電」/「待機」への切り替えを優先し、外部制御を解除します。

- システム単体** グリーンモードに設定しても、太陽光発電を併設していないので、蓄電池への充電はされません。グリーンモードには設定しないでください。

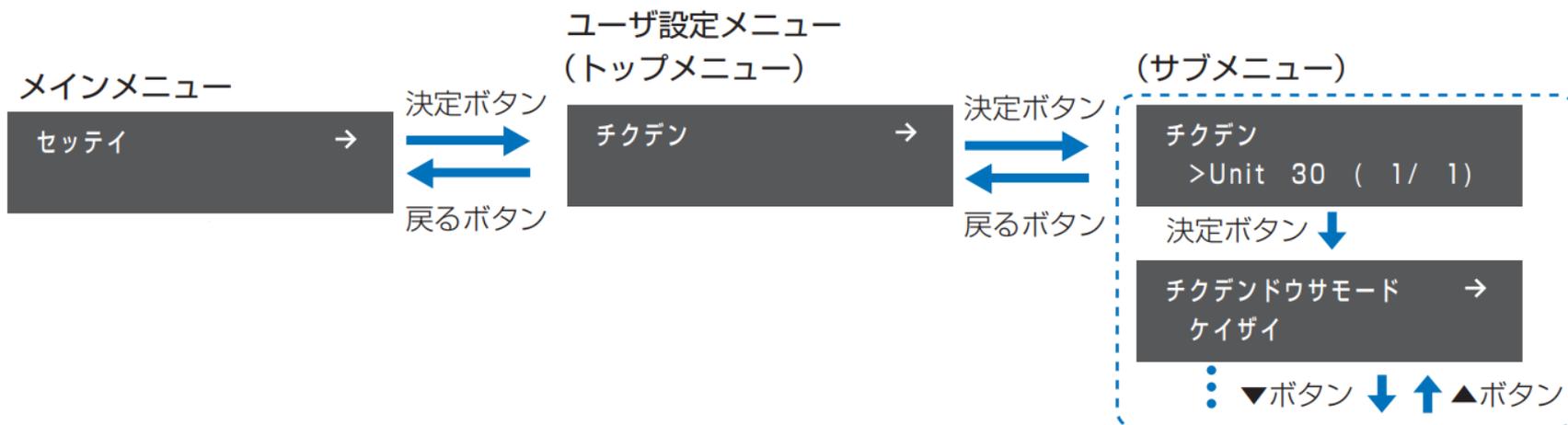
内容を確認して、**決定ボタンを押す**

- メイン画面に戻ります。

**※停電の心配がなくなったら
忘れずに元の蓄電動作モードに戻してください
固定買取終了前⇒[経済]・固定買取終了後⇒[グリーン]**

KPAC-B シリーズ フレキシブル蓄電システム 4.2kWh (KP-BU42-A) の場合

蓄電動作モードを [アンシン] に変更します



蓄電動作モードの変更のしかた ([UPO1] チクデンドウサモード)

システムの動作モードを設定します。

- 蓄電動作モードについて詳しくは 37 ページをお読みください。
- 通常は「ケイザイ」 / 「アンシン」 / 「グリーン」 のいずれかに設定してください。
- 「キョウセイジュウデン」 / 「キョウセイハウデン」 / 「タイキ」 は非常時や保守時のモードです。通常は設定しないでください。

※(⇒)は、取扱説明書の対応ページです

1 ユーザ設定メニュー（トップメニュー）の「チクデン」を選択し、決定ボタンを押す (⇒ 35)

チクデン →

- パワーコンディショナのユニット No. を表示します。

2 決定ボタンを押す

チクデン
>Unit 30 (1/ 1)

3 ▲ / ▼ ボタンで「チクデンドウサモード」を選び、決定ボタンを押す

チクデンドウサモード →
ケイザイ

4 ▲ / ▼ ボタンで設定値を選び、決定ボタンを押す

チクデンドウサモード
> アンシン

- 下記から選べます。停電に備えて残しておく蓄電残量 (=SOC下限) を50~100%で設定できるモードです。(全て停電に備えて溜めておく場合100%推奨)

ケイザイ / アンシン / グリーン※¹ / キョウセイジュウデン※²
/ キョウセイハウデン※² / タイキ※²

※ 1.太陽光発電システムを併設していない場合、グリーンモードに設定しないでください。

※ 2.非常時や保守時に設定するモードです。通常は設定しないでください。

- 戻るボタンを数回押すと、メインメニューに戻ります。

※停電の心配がなくなったら、忘れずに元の蓄電動作モードに戻してください
固定買取期間終了前の場合⇒ [ケイザイ] ・ 固定買取期間終了後の場合⇒ [グリーン]